

慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應法科懇話会
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2005
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.2 (2005. 3) ,p.275- 276
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20050315-0275

【記事】

2004年度後期慶應法科懇話会

第1回例会

日 時 9月27日(月)4時30分～

場 所 東別館一階会議室

報告者 六車 明

テーマ 「将来世代の利益をいかに守るか」

環境問題は現在の世代と将来の世代の利害の調整という場合で発生することが多い。不法投棄された廃棄物の処理や、核廃棄物の保管の問題などは典型であろう。どのようにして、両世代の利害は調整されるのであろうか。

第2回例会

日 時 10月25日(月)4時30分～

場 所 東別館一階会議室

報告者 山川隆一

テーマ 「労働審判制度の意義と課題」

新たな労働紛争解決システムとして立法化が実現した労働審判制度につき、その意義と概要を紹介するとともに、運用開始に当たっての課題を検討する。

第3回例会

日 時 11月29日(月)4時30分～

場 所 東別館一階会議室

報告者 田中 豊

テーマ 「日本の最高裁における調査官の役割」

最高裁調査官制度は、日本の司法制度の一部としてすっかり定着している。他方、「調査官裁判」の懸念の声も絶えない。また、1998年の民訴法の改正において、最高裁自身の役割も変容しようとしている。このような状況を背景にして、最高裁調査官の役割について、その現状を紹介し、将来を展望することとしたい。

第4回例会

日 時 1月24日(月)4時30分～

場 所 東別館一階会議室

報告者 三上威彦

テーマ 「改正破産法における否認権規定について」

平成16年に破産法が大改正されたが、その中でも、否認権制度の見直しは、おそらく、今回改正の最重要部分の一つをなすといっても過言ではない。よって、本報告では、新しい否認制度の概要を紹介すると共に、その個別的内容につき、若干の検討・評価を試みたいと考えている。